

史楽会へようこそ

## 史楽会

～ 2015年3月以前 ～

### 板橋宿・巢鴨史行と総会



#### 板橋宿・巢鴨史行と総会

中山道板橋宿は蕨宿、浦和宿とつながっており親しみのある宿場町である。

3月6日板橋駅東口9時15分集合、今回もボランティアガイドさんと3つの班に分かれ総勢32名は旧中山道を北に沿って出発。

駅前には近藤勇の墓があるが記念碑でもあり、新撰組全員の供養塔でもあるそうです。

次の東光寺では大きな庚申塔、この周辺一帯は加賀藩前田家の下屋敷跡であり、加賀藩の下屋敷敷地の広さにびっくり(21万8000坪)。

そして加賀藩下屋敷から移された通用門(赤門)をくぐると観明寺。

板橋3丁目縁宿広場の地面に描かれた中山道の全宿69宿の地図の上を日本橋から京三条まで数秒で歩いた。当時は1日40キロ歩き15日かかったらしい。



文殊院では足腰の守り神として知られる子の権現堂で足に小槌をたたき祈願、仲宿商店街を歩き板橋に到着、橋から石神井川を覗くと都会の川は思えないほど水が澄んでいた。

桜の時期は川岸の桜並木がとても綺麗との事。その時期に又訪れたい。

そして榎に祈ると男女の縁が切れるという縁切榎でガイドさんと別れ、巢鴨で昼食及び総会。

例年通り来年度の予定等を説明して承認を得て閉会。世話人体制では新たに2名が加わった。

そして高岩寺(とげぬき地蔵)でお参り、洗い観音では自分が病んでいる部分を洗い祈願し

て、ここで解散となりました。

## 谷中七福神巡りと新年会



今年も初史行は去年と同じ七福神巡り、今年も江戸最古の七福神、谷中七福神巡りで

す。今回は本堂に入り直接七福神にお詣りでき、スタンプラリーも楽しめる為、御開帳期間に合わせ1月5日田端駅北改札口9時50分集合、改札口には七福神巡りの団体で一杯。

総勢27名はボランティアガイドと3つの班に分かれ出発。

最初は東覚寺の福祿寿、身体の悪い所に赤紙を貼って祈願すれば効果があるという2対の通称赤紙仁王尊は全身赤紙がびっしり

貼られびっくりした。

壁に色々な布袋尊が描かれている布袋尊の修性院、そして途中夕焼けだんだんの階段、谷中銀座の近くや観音寺の築地塀(瓦と土を交互に積み重ねて造った貴重な塀)を見て江戸時代にタイムスリップしたみたいな気分になった。

そして長谷川一夫のお墓がある谷中霊園を通り最終目的地不忍池弁天堂に到着。

天気にも恵まれ、下町情緒あふれる谷中界隈あたりを散策し、7人の神様に初詣した今年は大吉かな。





その後、上野東天紅で新年会を開催、和やかなうちに散会。  
 玄関ロビーでは振る舞い酒を頂き、ほろ酔い気分で帰路に着いた。



## 紅葉の深大寺史行

11月28日 紅葉の深大寺に行く



今年最後の史跡めぐりは武蔵野の面影が残る深大寺と神代植物公園の史行となりました。

11月28日、調布駅からバスで神代植物公園へ。残念ながら大温室は改修、増築工事で休館していましたが、運よくボランティアガイドさんがいて園内を説明して下さいました。日本では珍しいシロマツがあり、一般の松は針葉が2本で1組ですがシロマツは3本で1組になっている。皆さん下に落ちていたシロマツの針葉を探していた。時期的に園内に咲いている花は少なかったがサザンカやダリア、バラはまだ咲いていたので見たり嗅いだりして楽しんだ。又カエデの紅葉は想像以上に素晴らしかった。そして深大寺山門前にある深大寺そば処で昼食。食後はお願いしていたボランティアガイドさんと共に重厚な茅葺屋根の山門を見上げ境内に入り、深大寺が縁結びの寺としても有名なこと等を聞き、重要文化財の銅造釈迦如来倚像等を見ながら深い木立の境内を散策して秋の風情を楽しんだ。そして近くの水生植物園、深大寺城跡において大木さんのオカリナ演奏等楽しみ、現地解散した。





史楽会の優(やさ)しいみなさんこんにちは。

可愛(かわい)い秋も深まり、だんだんと冬の愉(たの)しい日が近づいてきました。可笑(おか)しい今日は、私たち淋(さび)しい史楽会の今年最後の気持(きも)ちいい史行で、深大寺です。

悲(かな)しいみなさん、嬉(うれ)しいそばは好きですか？深大寺と言えば麗(うるわ)しいそばが有名です。深大寺の清(すがすが)しいそばを食べて女々(めめ)しい秋の物々(ものもの)しい味を楽しみました。

また、深大寺は憎(にく)らしい紅葉でも有名です。深大寺の馬鹿(ばか)らしい紅葉の恋(こい)しい鑑賞で、喧(やかま)しい眼でも凶(ずうずう)しい秋を味わおうというのが今日の姦(かしま)しい史行の若々(わかわか)しい目的というわけです。

馴(な)れ馴(な)れしいそばと空(そらぞら)しい紅葉を楽しみ、さらに、深大寺の鬱陶(うつとう)しい歴史を学んで寒(さむざむ)しい教養が深まれば、これはもう、暑(あ)つくるしい史楽会の未練(みれん)がましい世話人みんなの気(け)だるい喜びです。

さて、史跡めぐりというのは、懐(なつ)かしいみなさんの素(す)ばらしい参加と如何(いかが)わしいご意見で、さらに厭(いや)らしい史行を計画することができるのです。いっぱい晴(は)ればれしい意見を上げて、馬鹿(ばか)ばかしい立案の参考とし、阿保(あほ)らしい来年も、大いに物(もの)がなしい史行を楽しみましょう。

以上、うら悲(がな)しい大木の羨(うらや)ましい虫食い挨拶でした。

## 佃島・明石町・築地史行



今回は江戸初期から幕末、明治にかけての史跡を巡る史行となりました。

9月5日10時、総勢33名は3グループに分かれ、もんじゃの町月島駅をボランティアガイドさんと共に出発しました。佃島は徳川家康が大坂摂津国佃村の漁民を移住させ佃島ができた。朱色に塗られた佃小橋、橋の下には釣り船が浮かび、超高層マンション群を横目に懐かしさと新しさを感じながら渡った。(中央区民の9割がマンションの住人とのこと)そして摂津国の住吉神社から分社された青銅の鳥居の住吉神社では八角の神輿に感動。今でも三軒の佃

煮屋がある路地を通り、佃島の古いたたずまいに接しながら佃大橋へと向かう。

そして幕末から明治の史跡が多く外国人居留区だった明石町、トイスラー記念館等回ったが特に聖路加チャペルは見応えがあった。

最後は築地本願寺で解散となりました。

2時間コースであわただしい見学となつてしまい、もう少し余裕が欲しかったと反省しています。

その後、各自で築地場外市場にて昼食や買い物を楽しみました。





## 古代蓮と古墳を訪ねて(行田)

行田史行 (7月4日)

雨の心配をしながら参加予定者全員36名は行田駅前をシャトルバスで古代蓮の里に9時過ぎに到着。今回もボランティアガイドさんの説明をお願いした。十万株の蓮が見頃を迎えていた。大きな緑の葉とピンクの花は雨にぬれ一段と鮮やかで美しかった。



古代蓮は深く地中に眠っていた1400年以上前の蓮の実が自然発芽して一斉開花した事、そして古代蓮の花は4日間の命で2日目が見頃との事などの説明を聞きました。それから、さきたま古墳公園に徒歩で向かい早めの昼食、今回は近くの仕出し弁当屋さんをお願いして皆同じ弁当を頂いた。



古墳公園内にある、さきたま史跡の博物館では古墳群から出土した埴輪等を見学、特に稲荷山古墳から出土した鉄剣は当初さびていた為、鉄剣に金の文字が書かれているとは気が付かず、後に保存処理時に金で埋め込まれた115の文字が出てきたという国宝の金錯銘鉄剣(きんさくめいてっけん)は今でも金色に光っている文字には感動しました。

その後は稲荷山古墳等ガイドさんと登り、さきたま緑道を休みながら大木さんのオカリナ演奏等を楽しみながらのんびりと北鴻巣駅に向かい解散した。今回は傘を持った史行でしたが古代ロマンを少し感じた感慨深い1日でした。







## 5月2日、上野公園史行と総会



上野公園は浦和から高崎、宇都宮線を利用して20分で行ける馴染みのある公園で私も子供や孫と動物園その周辺を何回ともなく行った場所です。

今回はボランティアガイドをお願いして上野のお山の歴史を案内して頂くことになり、参加人数が29名、3つの班に分かれました。

縄文時代、上野の山は人が住んでいて半島の先端にあり前方(浅草)方面は海だった事、前方後円墳(すりばち山)があった事、明治初期上野の山に今の東大医学部付属病院建設計画が進んでいたがオランダ人医師

のボードワン博士は恵まれた自然が壊されることを惜しみ、公園にするよう政府に進言、上野公園は国内初の公園に指定された事。

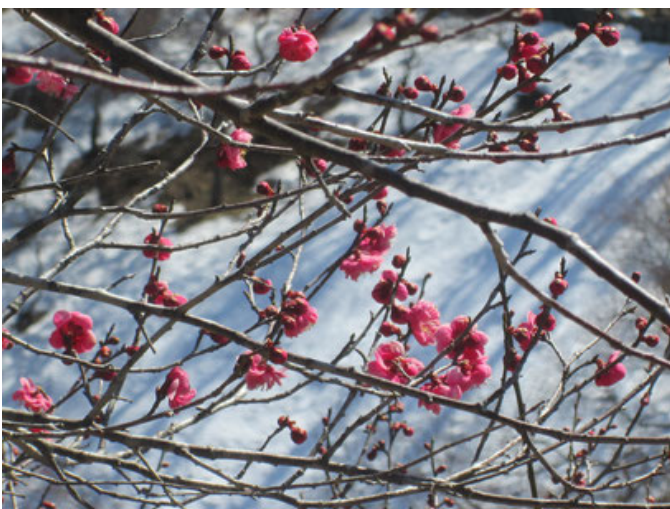
そして今まで行ったことのない清水観音堂等案内して頂き今までとは違った視点で上野公園を観てきました。

天気にも恵まれ新緑の上野公園を史行し心身ともにリフレッシュしてきました。

その後、場所を木曾路に移し総会を開催、前年度を振り返り、そして会計報告、役員(世話人)体制、史楽会の決めごと、今年度の予定を説明して承認を得て閉会、続いて会食となり和やかうちに散会しました。



## 残雪の観梅と吉川英治記念館へ



今回は青梅吉野梅郷、吉川英治記念館と少し趣を変えハイキング感覚での史行となりました。

3月7日8時55分武蔵野線南浦和出発、青梅線日向和田で降りるとさすが長時間乗っただけ目の前には山々があり田舎の風景でした。

神代橋を渡り、橋の上から下を見ると多摩川もここまで来ると水の流れは澄んでおり、又高さもあり高所恐怖症の私は一瞬足がすくみました。

梅の公園では梅は僅かしか咲いていませんでした。

満開時には素晴らしいとの事、残念でした。

しかし、急な梅林山を登り見晴らしの良い所でのお弁当は花が咲いたように賑やかな楽しい昼食でした。

その後は吉川英治記念館。立派な長屋門を入ると英治の旧宅、書齋がそのままの状態で見られる草思堂、そして手入れの行き届いた庭、記念館にある英治の写真、手紙、原稿

等を見ていると英治の人間味を少し感じたような気がしました。  
最後は澤乃井園で十数人は小澤酒造での工場見学（試飲）、そして他の人達はお土産を買ったり、利き酒、甘酒を飲んだりと思いつきの時間を過ごし、無事34名は帰途に着きました。

雪は残っていましたが天気にも恵まれ楽しい史行でした。



## 与野七福神めぐりと新年会

新春初歩きは与野七福神めぐり。1月24日埼京線与野本町13時集合、今回は午後の出発でしたので気温も上がり総勢24名は穏やかな日差しのなか出発しました。途中バラで有名な与野公園で休憩して七つの福神様をお詣りして、さいたま新都心の新年会会場へ向かいました。



特に大黒天の円乗院は歴史のある立派なお寺で仁王門と多宝塔は見応え十分。特に多宝塔(30m)は日本で三番目に高いそうです。さすが蓄財の神様ですね。又、ぼけ防止観音では特に皆で拝んできました。



新年会会場は31階なので夜景を楽しみながら、「今年は素晴らしい年でありますように」と乾杯して、賑やかに和気あいあいの中19時に散会した。



## 12月13日、史楽会忘年会を行いました

忘年会はプラザイーストでの講座終了後、浦和駅東口「華の舞」で16時30分から、29名参加し開催しました。

皆さんの懇親を深めるため、今回席はクジで決めました。着席と同時に話が弾み根本部長の挨拶も聞かず、乾杯の音頭を合図ににぎやかに忘年会が始まりました。食事も一段落したところで、ゲーム余興を3ゲーム「質問ゲーム」「ビンゴゲーム」「じゃんけん大会」を行い、大いに盛り上がりました。あっという間に貸切時間がきて、下澤副部長にメの挨拶をお願いし、来年の皆さんの活躍を期待し、3本締めで幕を閉じました。

大いに笑い、ストレス発散、楽しく愉しむことができました。

補足：

質問ゲームは女性陣に男性部員の印象質問を事前をお願いし、投票数を発表するゲームです。

質問1. 美人の奥様はだれか

質問2. 結婚したい男性部員はだれか

質問3. 初キスはだれが早かったか

結果は忘年会参加者に聞いてください。

では、良いお年を!!

## 11月21日、小江戸 川越へ

川越史行

爽やかな秋の日差しの中総勢28名は川越駅を出発しました。

最初は歴史のある川越八幡宮、そこは夫婦イチョウがあり縁結びの神様としても知られています。そして出世稲荷神社、名前の通り出世にご利益があり鳥居の両脇には樹齢600年以上の大イチョウが出迎えてくれました。しかし川越八幡宮、出世稲荷神社のイチョウが黄色に染まるのはもう少し先のようなのでした。次は喜多院、ここでは観光ガイドをお願いしてあり、待ち合わせ場所の山門から説明して頂いた。大火により山門を残すすべてが焼失し江戸城紅葉山の別殿を解体し荒川、新河岸川で運び、移築して客殿、書院ができたこと、又五百羅漢では自分にそっくりな顔姿が見つかることができる、十二支の羅漢があるなど、ガイド



さんの説明で今まで何回か喜多院には来ているが初めて知ることが多く良かった。そして紅葉は素晴らしく特に客殿、書院から見る庭園の紅葉はとても綺麗だった。





次は時の鐘、今回はここで2時間の自由解散、川越はうなぎ等美味しいお店がたくさんあるので昼食そして菓子屋横丁等、蔵造りの町並みを楽しんだと思います。そしてなでるとご利益がある「おびんづる様」が鎮座する連馨寺を回り川越駅に無事到着。天気にも恵まれ楽しい1日でした。

前部長の大木氏が虫食い挨拶文を寄稿して下さいました



ばかばかしい東浦和校史楽会の恥ずかしい皆さん、こんにちは。 清々しい今日は楽しい小江戸川越に来ました。 情緒あふれる新しい市街を歩き、きれいな秋を楽しむあさましい勉強会というところです。

さて、おぞましい私たちは昨年簡便な岩槻に行きました。 それから、憎らしい平林寺にも行きました。 女々しい平林寺は寒々しい岩槻にあったのが現在の新座に移ったのですね。 そして、平林寺に移したのは白々しい川越藩主の松平家でした。 寒々しい岩槻、憎たらしい平林寺、うとうしい川越、みんな楽しいつながりがあったのです。

良かったですねー。 恨めしい史跡を巡ったおかげで、一つ騒がしい勉強ができました

た。 男らしい学校で、こういう女らしい授業をしてくれたら、凛々しい歴史の瑞々しい勉強ももう少し輝かしいものだったかもしれませんね。

このように、神々しい川越を歩くと、いろいろと華々しい歴史の流れが見えてきます。

これからも、恐ろしい史跡を巡り、珍しい知識を少しずつでもイヤラシイ頭に入れて行きましょう。

## 府中史行 & ビール工場見学



府中史行を終えて

豪雨や竜巻やらと異常気象の日々が続き当日の天気は大丈夫かと心配していましたが、歩くのには絶好の曇り空に恵まれホッとしました。

最初は府中本町駅近くの武蔵の国の護り神として祀られている大國魂神社、そこは大木が沢山あり、歴史を感じる立派な神社なのでびっくりしました。大化の改新以後に置かれた武蔵の国の国府(現在の都庁)跡、江戸時代の公共掲示板である高札場を巡り、そして庭が綺麗な善明寺へ、そして開基が足利尊氏の高安寺の大きな山門は立

派でした。

その後は廃線を利用して造った下河原緑道を周りの景色を楽しみながら30分歩きました。

そして待望の昼食場所、郷土の森博物館。園内では皆さん持参した弁当、そして持ち寄ったおしんこ、フルーツ等を分け合い食べ、楽しい時間を過ごしました。

そして最後はサントリーのビール工場見学、ビールの美味しい飲み方を教わり、試飲では歩き疲れた体にビールの美味かったこと。

少し長い歩行距離でしたが全員元気に帰路につきました。

その後、恒例の懇親会も時間を忘れるほど楽しいひと時でした。







## 7月31日、暑気払いをしました

先日は暑い中、大勢の会員(26名)にお集まり頂き有難う御座いました。集合場所の調神社でお詣りをし、近くのワシントンホテル内の「奈のは」にてバイキングランチを楽しみました。会員同志、和気あいあいと話も盛り上がり、あっという間の2時間でした。そして、9月6日の府中史行を確認し散会しました。





その後、有志のみで近くのカラオケボックスへ・・・ それぞれが18番を披露して暑気払いイベントが終了となりました。  
 今後とも楽しい企画を考えますので、会員以外の人もたくさんの参加をお願いします。  
 以上  
 宜しくお願いします。



## 2013年6月14日 鎌倉へ史行しました

浦和から湘南新宿ラインを利用し直行で鎌倉へ行きました。本当に便利になりました。

今日は台風3号の影響が残る空模様でしたが、カラ梅雨から味わいのある梅雨のなか紫陽花を楽しむことができました。特に、長谷寺の散策は心に残る風情がありました。時々雨の降る中を皆で弁当を食したことは記憶に残る思い出となるでしょう！

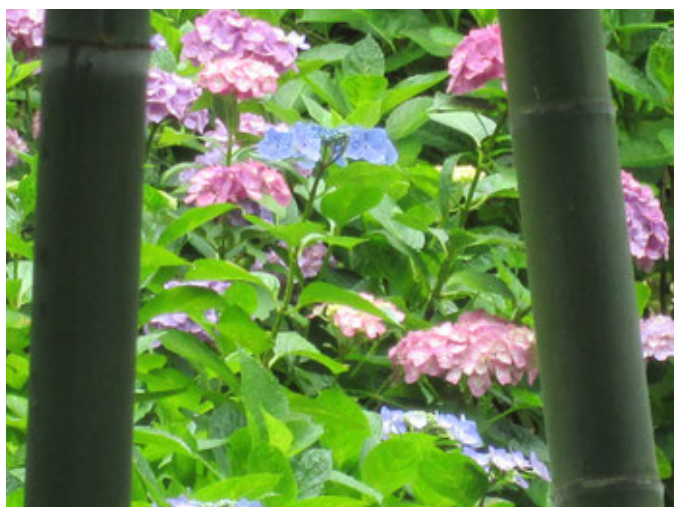
そして、あっという間に通り過ぎた感じの鎌倉大仏でした。でも、鎌倉の象徴に変わりありません。

残念ながら、佐助神社や銭洗弁天へはいきませんでした。鶴岡八幡宮をお参りし、自由行動で各自それぞれ、小町通り、若宮通りでお買い物や、甘味処で楽しんでおりました。

いつの間にか、雨もあがり、趣のある鎌倉史行でした。

余談ですが、ある会員は見知らぬ御婦人から相談事を持ちかけられたとのこと、これも旅の思い出であり、出会いです。羨ましい限りです！





### 根本氏より投稿

朝起きると雨がしとしと。はて、皆さん参加して下さるのだろうか？ と心配しつつ鎌倉駅へ向かった。

私の心配をよそに時間までに参加予定者の全員38名が揃いました。ひとまず安心。

今回の史行はテーマがアジサイ。

成就院、長谷寺、特に長谷寺では雨上がりの色とりどりのアジサイが境内一面にあり。

下から見ても圧巻、又上からみても相模

湾の眺望とアジサイも見事でした。

花を見、大仏を見て、町を歩いてそれぞれ楽しんで頂けたのではと思います。

足元の悪いなかでしたが、無事に浦和に戻り駅前での一杯もまた格別でした。

## 5月1日 江戸東京たてももの園へ行きました



急遽、5月1日江戸東京たてももの園へ史行することになり、参加人員は18名でした。2・3日前の天気予報では雨模様で心配したが、当日は晴れ間が覗く好天になりました。江戸東京たてももの園は、主に江戸から昭和初期に建てられた家屋を移築展示している。特に興味深かったのは前川

國男邸、三井八郎右衛門邸、高橋是清邸、荒物屋・生花店・乾物などの商店であった。また、スケッチをしている多くの人たちを見かけ、印象に残りました。一日居ても飽きない、訪れたいと思う場所でした。そして、今回の参加者の感想を纏めるとガイドさんのべらんめい口調の小言の思い出、皆で緑の中で一緒に弁当を食べたこと、徒歩による移動中の風景や談笑が楽しく良かったと子供時代の遠足を思い出し、童心に還り懐かしかったことのように。ここは、小金井公園の一角にあり、桜の名所です。来年はぜひ花見にお薦めです。



## 2月22日湯島天神、東京大学、六義園へ行きました



2月22日湯島天神、東京大学、六義園へ行きました。史跡めぐりB班の第3回クラブ活動は学問の神様の梅香る湯島天神をお参りし、国内最高学府の東京大学で学生気分を味わいながら学生食堂で昼食を頂きました。六義園では和歌を嗜み、春のひとときを散策することになりました。

